

理事会議事録

令和6年度 第2回

公益財団法人 愛媛県消防協会

2024/08/27

令和6年度 第2回理事会議事録

【日 時】 令和6年8月27日(火) 午後1時53分～午後3時25分

【場 所】 松山市築山町12-33 松山市青少年センター3階「大ホール」

【出席者】 理事13名(総数15名)、監事2名(総数3名)

事務局3名、支部幹事3名、会長所属事務1名

代 表 理 事：大西浩司

業務執行理事：戸田 基、嘉村重雄、梶田 浩

理 事：河野忠康、前田正樹、村尾尚登、小林俊則、藤原清久
山内敏男、小笠原貴雄、矢野正祥、河野 通

監 事：渡部政近、坂本讓司

事 務 局：近藤正紹、田所慶子、新野涼子

支 部 幹 事：南部卓英、小寺能康、井上龍星

会長所属事務：玉井 公

【欠席者】 武智邦典、宇都宮憲治、(監事) 益本三郎

【議 長】 大西浩司

【定足数】 7名

<議 事>

まず、事務局より規定に定める議事定足数(過半数)に達しており、本会議が成立することが宣言された。

1. 【第1号議案】 定款の一部変更と支部規約の一部改正について

事務局から下記のとおり説明がなされた。

支部長職と副会長職の関係を明確にする。

現在、支部長は支部の春季役員会で選任、その後協会へ役員等の推薦書を提出している。

しかし定款の規定は、定時評議員会で理事に選任されて、臨時理事会で副会長が選定され、支部長職が確定する。

支部は総会終了時点で新支部長が選定されたことになっていること、県協会の役員会等とひと月ほど期間があいているため、協会・支部事務局との間で事務処理の相違が発生することがある。

支部長を辞するとき、副会長も同時に辞することになるが、事業の継続性や会長選出を考えたときには副会長として複数期努めることが可能な体制が必要。

今回の変更で、現行の運用体制に影響はないが、次回の理事改選では支部長に選任した理事を臨時理事会で副会長に推薦し選定することになる。また、支部長以外の理事を副会長に推薦することも可能となることから、今後は運用面を明確にし、改正内容の周知に努め、業務執行体制の強化に向けて取り組みたい。

<ご意見>

河野理事)「理事の選任候補者」を具体的に説明して欲しい。

事務局)理事は2年任期。改選の年に各支部から理事が推薦されるが、この時点で理事以外の人に理事の資格はない。支部総会では「支部長(理事候補)」が選任される場合があり、このような人を指している。

梶田副会長)私はその該当者。4月の総会で「支部長」になった時点で、県協会の理事ではなく、南予支部から推薦されているだけだった。評議員会で、理事が承認された。理事になる権利が与えられている人のこと。

議長)支部総会は4月にあり、県協会の評議員会、臨時理事会は5月下旬頃に開催され、タイムラグがある。支部総会で新「支部長」が選ばれるが、今の定款では臨時理事会が終わるまでは、3月で退団した副会長(=支部長)が担当しなければいけない。

このようなことを考慮して今回の提案をした。

事務局が第1号議案を諮ったところ、全員賛成で可決された。

2.【第2号議案】愛媛県消防協会事務所の大規模改修について

事務局から下記のとおり説明がなされた。

令和2年8月理事会に於いて、老朽化しており新耐震基準前の建物である旨を説明。移転して建て替え、大規模改修、新築(RC・プレハブ)、別施設への引っ越し、民間テナント入居など案を挙げ、今後、調査検討を進めることとなった。

令和5年2月理事会に於いて、アスベスト検査の実施が決まるとともに、建て替えの方向で承認を得たが、物価高騰等影響で建築費も高騰し、木造新築でも1億円を超えることが判明。

令和5年度に各市町・組合を訪問し、大規模改修への方向転換を説明し、令和5年8月理事会に於いて大規模改修で承認を得るとともに、耐震診断・耐震改修設計の実施が決定した。

令和6年度評議員会、理事会に於いて耐震診断及び耐震改修設計結果を報告した。

(資料の説明)

全体の方針として、大規模改修の前提となる耐震改修及び屋上防水工事、外壁塗装の実施に向け見積徴収や工程に関する調査などの準備を進めるとともに、資金計画の策定に取りかかりたい。

<ご意見>

矢野理事) 今後の工事等の概要(4)にある内装、空調、照明、給排水等改修について。

内装はそこそこ費用がかかると思うが、空調は令和元年リースにしたエアコンを使うなりして全部取り替える必要があるのか、照明も同様、給排水もトイレと水回りだけ替えるとなれば、6,000万円もかかるものなのか。

事務局長) 内装はアスベストの撤去があるため、かなり費用はかかる。空調は5年経過したので再リース契約をして使用している。今後も使えるかどうか調査・確認するので、詳細は実施設計で出てくるものだと考えている。照明は、器具はそのままLED化したので、こちらも実施設計でどこまで使用できるかどうか確認していく。空調・照明は壁・床を剥がすので配線からやり直す。配線も老朽化しているので、費用はかかってくる。給水管のやり替えをしていないので経年劣化もあり、単独費用の算定はしていないが、やり替えは必須だと考えてる。

矢野理事) やり替えないといけないものはやらなくてはいけない。それぞれで積算しているのかと思ったが、6,000万円は高いという印象。

実施設計代を加算すると約9,000万円で、30年で割ると300万円。300万円をかけてやるだけの価値があるのかどうか、半分程度に抑えて大規模改修を実施し、30年後、また改修するのかどうか検討すべき。

この費用は市町が負担することになるだろうが、この数字で納得されるのか。私はこの数字を市に持って帰られない。

事務局長) 6,000万円は業者に現状で当面いくらになるか、大きなくくりで聞いた数字。詳細な金額を確認するには費用が発生する。リース物品の再利用、各工程の詳細な金額は、今後実施設計で明らかにしていきたい。現時点で市町に6,000万円を持って帰って下さいというお願いではなく、今後精査していく前提で今後の方針を協議願いたい。

議長) 8,300万円は現時点の最大価格だと思って欲しい。実施設計をすることにより、矢野理事の言われるように費用は落としていきたい。今、何も進んでなく建物が傷んでいくばかりなので、実施設計後、資金計画を策定したら市町にお願いにまわらないといけないと考えている。大規模改修することが決まったのであれば、前を向いて進めていかないといけないので、このあたりも考えて審議をお願いしたい。

議長が第2号議案を諮ったところ、賛成多数で可決された。

3. 諸般の報告

事務局から下記のとおり報告がなされた。

(1) 消防団広域連携強化事業について

資料1~6 ページの通り

(2) 愛媛県消防操法大会の振り返りについて（資料 7～11 ページ）

① 開閉会式について

あって良い

- ・ 暑さ対策
- ・ できるだけ短く
- ・ 待ち時間が長い
- ・ 表彰式をもっとスムーズに

② 実施場所（ポンプ車）について

- ・ 全国大会との兼ね合い
- ・ アスファルトでの実施
- ・ 移動距離等を考えると中予の実施になると思う。団長は候補地を挙げて欲しい。

③ 実施時期について

- ・ 涼しいときが良いが全国大会との兼ね合いがあるので致し方ない
- ・ 前年度開催
- ・ 7月上旬

(3) 市町負担金について（資料なし）

- ・ 負担割合の要綱があり、負担金額は平成 26 年度 1,079 万円から同額。
- ・ 団員、協会職員ひとり 100 円の協賛会費は、令和 3 年度まで。
- ・ 今年度マイナス予算 371 万円。経費削減の努力はしているが、371 万円の圧縮は難しいのが現状。
- ・ コロナ禍の時は黒字だったが、令和 5 年度決算は赤字。
- ・ 令和 7 年度の市町負担金は同額。経費は圧縮したものを作成したい。
- ・ 協会建物とは切り離して、公益事業の実施という観点で令和 7 年度中に増額について検討していきたい。

(4) 弔慰伝達について

資料 12～13 ページのとおり改正する。

(5) 愛媛県消防協会長表彰・感謝状（個人）について

- ・ 令和 3 年度第 3 回理事会で改正された表彰基準で運用している。
- ・ 感謝状（個人）パートナーの続柄は求めている。
- ・ 内助の功労は、感謝状（個人）になったので、出初（観閲）式等の取扱は表彰基準に合わせて欲しい。

(6) 公益インフォメーションについて

- ・ 定期提出書類 6 月 20 日
- ・ 役員等の変更 6 月 28 日

第 1 号議案「定款の一部変更」は書面による評議員会で承認を得たら、変更届を提出する。

(7)その他

○女性確保対策事業（資料 14～16 ページ）

11 月頃研修会開催予定

団広報担当者、広報に興味がある団員、グッズ作成に興味がある人等が参加対象

○機関紙「えひめ消防」、「日本消防」の原稿依頼（資料 17～18 ページ）

○愛消協まとい会から、特別寄付金の申し出があった。

特別寄附金は使途が指定された場合、理事会承認が必要であることを伝えた。

大西会長は、本日の議事がすべて終了したので議長の席を降り、事務局長が午後 3 時 25 分閉会を宣した。

本理事会の議事の経過の要領及び結果が正確であることを証するため、議事録を作成し、議長並びに出席監事はこれに署名捺印する。

令和 6 年 9 月 2 日

公益財団法人 愛媛県消防協会

捨印

代表理事 大西 浩司 ⑩ ⑩

監 事 渡部 政近 ⑩ ⑩

監 事 坂本 譲司 ⑩ ⑩